



20号の主な内容

まつりつくば2017に出展	2
つくば駅周辺の清掃活動.....	3
企業訪問「くきの里」	4
<自転車のまちつくば>の実現に向けて.....	6
<筑波山地域ジオパーク>.....	7
付記.....	8
おくやみ.....	8
ご案内.....	8

〈地域社会に根ざして〉 まつりつくば2017に出展

つくば市最大のイベント夏祭「まつりつくば」が8月26日(土)～27日(日)にかけて盛大に開催されました。最終日の27日には「東京デイズニールゾート・スペシャルパレード」が行われ人気キャラクターが2台の専用車両から手を振るなど最高の盛り上がりを見せていました。私たちシルバー人材センターは今年も中央公園のふれあい広場の一角にブースを設け出展しました。



どれにしようかな。



これください。



高名な方が描いた絵柄のようです。



スライム、色をつけてグニュグニュします。自分で作るのが楽しい。

地域貢献の一環として毎年参加していますが、多くの市民の皆さんにシルバー人材センターの活動を知っていただきたいとPRのパンフレットやチラシを配布しました。ブースでは女性部会員が一生懸命、一針一針丁寧に仕上げた手作り製品コーナーが大好評。ブルーシートに並べられた台所用用品、湯飲みのセット・缶切り・麺湯切り・・・などの販売が人気でした。

断トツ人気は理科実験「スライムであそぼう」。子供たちもお母さんたちもグニュグニュしたものに夢中に取り組んでいました。持ち帰ることができるので家でもきつとやっていることでしょうか。隣では「ヨーヨー釣り」と「スパーボールすくい」に大はしゃぎの歓

(注) 本文中では「つくば市シルバー人材センター」を「センター」と称する場合があります。



ずっと右奥がパレードの通りです。見えるかな。



良さそうなのが、沢山あります。

声があがる。なんと賑やかなブースでしょう。子供さんたちが喜んでいる様子に引き込まれるように大人の皆さんも集まってくるんでしょうか。笑い声が絶えず皆さんが集う場所にはきっと良いことがあります。

他に目を向けると、隣の広場では5〜6頭の小柄なポニーや競走馬ほどではないが少し大きめの馬に鞍をかけ、子供さんたちが乗馬体験を行っていました。翌日、同じ場所でブラスバンドの演奏があり多くの人が聞き入っていました。近くの図書館前の通りでは筑波山名物のガマの菓売りの口上実演、またおいしそうな匂いが漂う食べ物屋台の出店が所狭しと並んでいます。更に道なりに奥へと進んでいくと右手につくばエキスポセンターの巨大なロケットが宇宙に向かってそびえたっているのが見えます。左手には市民の皆さんが涼を取る水鳥が遊んでいる割と大きめの沼があります。沼をぐるっとまわる小道の通りは色々なお店屋さんが出ていました。

表紙の写真「まつりつくば2017」

中央は、人気のスーパードールすくいです。右上は、隣りのつくばエキスポセンターの宇宙ロケットです。左下は、綺麗な浴衣を着てヨーヨー釣りに夢中です。

つくば駅周辺の清掃活動

会員 遠藤 忠

(つくば市自転車管理事務室、就業) つくば駅周辺は人が集まりにぎやかですが、道路にゴミが散乱して環境を害していることもあります。

そこで5月より、つくば駅駐輪場に就業している13名にて、月一回(第二月曜日)日ごろお世話になっている、つくば駅周辺の清掃を始めました。



シルバー人材センターは仕事を通して自主的・自立的な就業活動や組織活動に積極的に参加し、地域社会に貢献することでもありますが、ボランティア活動を通して地域に貢献することでもあります。

身近なところからボランティア活動を始めることにより、地域の人に、シルバー人材センターの存在を知っていただき会員の増加、就業先の増加に繋がればよいと思います。



〈企業訪問〉 特別養護老人ホーム「くきの里」

9月11日（月） 荃崎地区にあります特別養護老人ホーム「くきの里」を訪ね、理事の芥川知己施設長にご案内いただきました。同施設にはシルバーのメンバーが就業の機会をいただいております。施設は社会福祉法人愛信会が経営する老人福祉施設の一つであり、近くには姉妹施設のグループホーム「いちちょうの木」もあります。施設は県道210号線（谷田部藤代線）から100メートル奥に入ったところで、



理事・施設長 芥川知己さん



宿直室



厨房

施設は周囲を茂った木々に囲まれ非常に静かです。県道には案内の立て看板がありますので迷うことはありません。

施設の前は広い駐車場になっていて送迎用のくきの里と書かれた自動車が沢山とまっています。左奥の方の敷地は施設で働いているスタッフの方々の乗用車が所狭しと駐車しています。正面玄関を入ると左側に広い事務室があり、芥川施設長に温かく迎えていただきました。

当施設が入所者の皆さんと、デイサービスで来所する皆さんに対して心



業務用の大きな洗濯機



デイサービス



グランドゴルフ



県道立て看板

がけていますと言っておられました。2つほどが、特に印象に残りました。やはり楽しみはお食事ですので、一人ひとりの体調や好みにもそえるように、例えばおかずの煮物は食べやすいように包丁で細かくするとか、この人は今日は体調がすぐれないのでご飯はお粥のようにやわらかくして差し上げようとか、かなりきめ細かく気を配っています。次に送迎用の車は一般的に10名ほど乗れる小型のバスを使用しますが、当施設では一切このバスは使用していません。車いすが後ろから入れられるワンボックスタイプの普通車や軽

乗用車を使用しています。施設を利用する全ての方々を送迎するにはバスでは自宅前までは入っていけないようです。この地域は細い道路も多いので乗用車にされたそうです。送迎用軽自動車はどこにでも入っていきけるとのこと。この心配りが嬉しいです。全てをご紹介するにはとてもこのスペースでは少なすぎます。お話しをお伺いしました奥のテーブル席にまで、利用で来られている方々の笑い声が聞こえてきます。大きく明るい天窓の下20名ほどが、グランドゴルフに興じていました。特別養護老人ホーム「くき

<案内>

〒300-1274 つくば市上岩崎 1845-27

T E L 029-840-1131

F A X 029-840-1132

<アクセス>

(車)

常磐自動車道、谷田部 I.C より 7km、19号線経由 210号線沿いに案内立て看板あり

(バス)

JR 牛久駅よりバスで約 20分、北坪で下車 (森の里経由、緑が丘団地行き)

の里」は地域の人々に愛され、安心と明るさを与えている存在です。

《自転車のみちつくば》の 実現に向けて

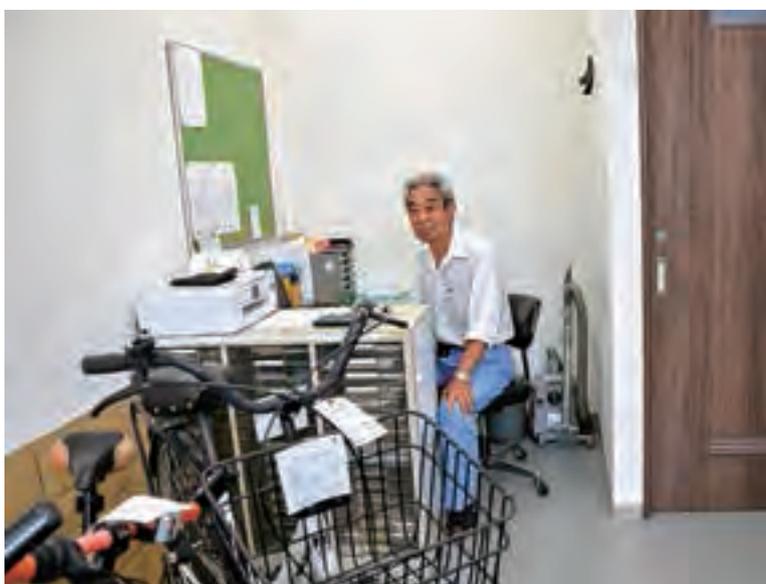
自転車部 小西宗明

つくば市の交通政策にかかわる自転車施策の推進、自転車の利用促進と安全利用に関する啓発などの実施に協力し、環境にも配慮した魅力あふれる《自転車のみちつくば》の社会の実現に、微力ながら貢献したいと思います。

自転車再生事業では、地域と人を繋ぐモデルとして、市内の放棄自転車、



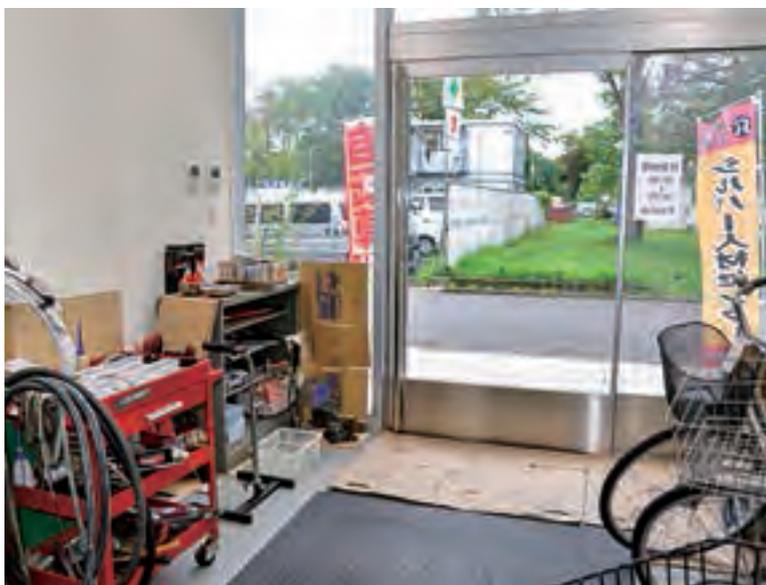
「グローバルヴィレッジ」(大学構内)の新店舗



新店舗の内部 (こちらに顔を向けてる小西氏)

筑波大学卒業生や研究機構施設などにおいて転勤、転居による不用自転車を回収引き取り後、分解整備や部品交換から組み立てなどを行ったりサイクル車の販売や、また自転車修理も行う店舗「愛称、Gちゃり君」を、2013年11月吾妻の消費生活センター横にオープン、毎日午前10時から午後6時まで営業しています。

当初、メンバー全員が研修を受けただけの素人でしたが、人材にも恵まれ全員が努力と経験を重ね、自転車技士



新店舗の入り口付近

や自転車安全整備士の資格なども取得しました。さらなるレベルアップを各メンバーが目指し頑張って研鑽を重ねてきたことで、再生や修理の技術についてご信頼をいただけるのではないかと期待しています。

地域の皆様にも、年月が経つと共に「Gちゃり君」が浸透し、優しい対応で安心、かつ迅速で丁寧な修理、点検が評判を呼び、リピーターも増加しています。また他県のシルバー人材センターからも、新規事業計画に向けての

<公益財団法人 つくば市シルバー人材センター
自転車部>

(1)「つくばサービスステーション」

場所：つくば市吾妻 1-2-5
(南1立体駐車場出口向かい側)

TEL：090-8701-1043

営業日：年中無休(除く年末年始)

営業時間：午前10時～午後6時

(2)「グローバルヴィレッジ」(大学構内)

場所：つくば市天久保 2-1-1
(追越宿舎と平砂宿舎の間)

TEL：080-3533-1567

営業日：平日

営業時間：午前10時～午後4時

視察もありました。
毎年筑波大学へ「CYCLE」の一環として卒業生の自転車約140台を回収整備し、リサイクル車として新入生に販売してきました。そのような経緯から今年4月大学構内に開設された施設(名称グローバルヴィレッジコミュニティステーション)の一部を借り受け、新店舗をオープンしました。学生の皆さんにも近くて便利で安価だと、大変評判も良く喜んでいただいています。



会場でプレゼン中の仙台さん(やや右奥)

〈筑波山地域ジオパーク〉 筑ジオカフェへようこそ！

筑波山地域ジオパークの大地の価値や魅力について、講師の方を迎えて気軽に語り合う「筑波山地域ジオカフェ(通称：筑ジオカフェ)」が毎月1回、TXつくば駅前のBiviviつくばにて開催されています。参加費無料・予約不要ということ、地理大好きな本誌記者が9月20日、会場へ出かけました。



推進協会による会場での展示

今月の講師は、仙台文子氏。文部科学省国際統括官付ユネスコ第三係長として、日本ユネスコ国内委員会事務局でご活躍中。来月パリのユネスコ本部へ赴任されるそうです。余談ながら、同氏は筑波大卒とのこと。この日のお話では、一昨年11月に、これまでユネスコの支援事業であった世界ジオパークが同機関の正式事業となったことや、同氏とユネスコやジオパークとの興味深い関わりのお話を伺うことができました。

した。次回は10月18日で、講師は日本ジオパークネットワーク事務局次長の古澤加奈氏です。筑ジオカフェ以外にも、いろいろな楽しい企画があるので、ネットで検索してください。

(筑ジオカフェ)

毎月第三水曜日 18:30 ~ 20:00

BiVi つくば二階交流サロン

筑波山地域ジオパーク推進協議会:

029-883-1111

<http://www.tsukuba-geopark.jp>



筑波山地質見学マップの模型(中央)や桜川のレキ岩標本(右)

〈付記〉

表紙の左下の写真はテツポウユリです。ヤマユリやテツポウユリは日本原産で、あちらこちらに自生しています。近所のお宅の植え込みの隙間に、しきりに降っていた雨に濡れて咲きたたずんでいました。球根を植えた覚えがないとのこと、種がとんできて芽を出したのでしようと。球根だけでなく種でも増えるようですね。

左の写真は、彼岸花(ヒガンバナ)です。曼殊沙華(マンジュシヤゲ)とも言われています。色は一般的に赤が多いが、まれに白もあります。黄色、ピンクもあるようです。花は独特な形をしていて、とても綺麗です。



〈ご案内〉

入会説明会は次の通りで行ないます。入会をご希望の方は、直接説明会会場にお越しく下さい。お問い合わせは、電話で受け付けております。ホームページにも掲載しております。

開催月日	時間	会場
11月9日(木)・12月14日(木)	午後 1時30分	シルバー人材センター会議室 (大穂庁舎3階会議室)
1月11日(木)・2月8日(木)		谷田部交流センター 大会議室
3月8日(木)・4月12日(木)		荳崎交流センター 研修室
12月7日(木)		
2月1日(木)		

〈おくやみ〉

9月3日 広報部会員・書記、菊田潔さんがお亡くなりになりました(享年 76歳)。ここに謹んでお悔やみ申し上げます。広報活動を精力的に行う等、活躍していただきました。御礼申し上げます。

◆きずな原稿募集

「きずな」の原稿を随時募集しています。就業先での出来事や体験談、身近な出来事等々、お待ちしております。投稿いただきました原稿を掲載した場合、些少ではありますが掲載謝礼をご用意いたします。